

【事例 H26-04-02-04】鳥取県岩美町

対面型相談自死予防対策推進事業

相談体制を充実させるため、ひきこもりがちな方を対象に、待つ体制ではなく家庭訪問等の形をとって対面型健康相談を実施した。介護予防基本チェックリスト健康情報をもとに、看護師・保健師同伴で高齢者家庭を訪問し、健康相談を実施した。

【実施主体】鳥取県岩美町

【大綱の分類】4心の健康づくりを進める 地域における心の健康づくり推進体制の整備④

【事業予算】平成25年度 315千円（315千円）情報なし

【利点】

▼悩みを抱えたときに、身近に相談できる相手がいること、孤独を防ぐことができる

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】情報なし

- ・相談窓口を開設していても待つ体制だけでは相談に来られる方は少ない。
- ・相談体制の充実を図るためには看護職員が家庭訪問という形で地域に出向いて相談を受けるやり方であれば、抱えている問題が分かってくるのではと考えた。
- ・リスクの高い方には直接相談を受けるのがよいと考え、対面型健康相談を実施

【計画を立てる上での工夫・等】

日中の訪問で面会できる可能性の高い対象者を抽出するため、本町の自殺者のうち3割を占める高齢者に着目した。

【具体的な内容・実施の過程】

対面型健康相談の取組み

<平成24年度>

- ▼高齢者を対象とした既存の日常生活圏域ニーズ調査
- ▼うつ予防該当者となったものを対象者として選定
- ▼ふれあいサロンと家庭訪問の場で看護職員が対面型相談を実施

<相談例>

- ・転倒し頭部打撲となり、精神的不安定で閉じこもりがちになっている。
- ・体力の衰えによる不全感、頻尿による不眠があり傾聴を希望。
- ・慢性疾患治療中で疲れやすさの中、上手にストレス解消中。
- ・2年前からうつ病治療中。犬の散歩が癒しとなっている。

<平成 25 年度>

▼町地域包括支援センターが平成 25 年 4 月に行った介護予防基本チェックリストの中からうつ予防該当者を抽出

▼看護師・保健師同伴で家庭訪問型健康相談を実施

<相談例>

- ・高齢の母の世話をしている、夜 1 時間毎に起きていて眠れない。
- ・うつ病治療中。眠剤を使用しながら、何も手につかずゴロゴロしている。
- ・肝臓病治療中でイライラ感が強いため、奥さんに当たり散らしている。
- ・耳の聞こえが悪く会話が成り立ちにくいため昼寝が多く、夜眠れない。

<工夫>

▼訪問には看護師・保健師がセットになって行った。

▼介護予防基本チェックリスト健康情報をもとに、高齢者家庭訪問。

▼特に睡眠状況について具体的な聞き取りを行った。

▼質問には、介護予防教室、介護保険料、在宅酸素医療費、慢性腎炎食事療法、訪問看護制度利用、認知症の判別法などがあり、情報提供する内容は多岐に渡った。

【成 果】情報なし

- ・複数の病気を抱えていても、自分なりに気持ちの対処をされていることが明らかになった。
- ・専門職による傾聴を希望する意見もあった。

【補 足】

▼人材養成事業、普及啓発事業として、自殺と関連の深いうつ病を前提にして、睡眠への普及啓発、笑いの効果を利用したストレス対症法の普及などを総合的に結びつけ、自殺を未然に防ぐ対策をあらゆる年代を巻き込んで実施。

【課 題】

▼早期にサービスの導入、多職種での関わり、医療との細やかな連携などの強化が必要である。

【事業種別】対面型相談支援事業、人材養成事業、普及啓発事業

【準備期間・人数】 不明

【予防段階】1 次 情報なし

【自治体規模】人口 12, 000 人 (H25.4) 財政規模 (不明)

【自治体負担率】0%

【事業対象】 高齢者 情報なし

【支援対象】 高齢者 情報なし

【実施主体・問合せ先】

鳥取県岩美町役場

健康長寿課

TEL: 0857-73-1322

E-mail: kenkouzoushin@iwami.gr.jp

【参考資料・文献】

高齢者日常生活圏域ニーズ調査（平成 23 年度）、介護予防チェックリスト（平成 25 年度）